

職員による自己評価

A環境面

利用者の人数によっては狭く感じる事
あり。

B児童への支援内容

商業地域の特性活かし、買い物などいく事
ある。
公共交通機関を利用し通所帰所の支援をし
ている。
コロナ禍の為、外出まならず。

C関係機関との連携

基幹センターや区役所のワーカー、計画相談
員と連絡を密にしている。

D保護者への説明責任・信頼関係

面談を半年に一度行っている。
何かあればすぐ保護者に連絡している。

E非常対応

保護者の携帯に連絡

保護者による評価

A環境面

バリアフリー化されていないところがある。

B児童への支援内容

特になし

C事業所からの情報発信

面談を半年以内に行っている。
コロナ禍のため、保護者会など開催できず。

D非常対応

問題なし

事業所内での分析

【共通点】

非常時の対応

【相違点】

活動プログラムに関して、固定化しないよう工夫しているが、基本学習がメインのため固定化されているように感じているのではないかと。学習の内容を検討していく必要あり。
外出、外食、買い物などのイベントは基本長期休みなどに行っている。
コロナ禍でイベント開催できず。

分析・検討してみても…

事業所の強み

生活スキルを身につけるための、取り組みを色々行う環境が整っている。
金沢文庫と併用利用することで、就労に向けて下級生の面倒をみるなど、スタッフの手伝いを指示に従って行動できるようになる。
教員や保育士、介護職の経験があるスタッフがおり、多様なサービスの提供ができる。
また学生アルバイトも多くおり、いろいろな年齢層のスタッフとかかわることができる。

事業所の改善点

日野中央特別支援学校などの受験に向けて、また、就労に向けての取り組みをどうしていくか。
学習支援、就労支援に対し内容を検討していく必要あり。
スタッフのスキルアップのための研修会など。

事業所の改善への取り組み

- ・高学年以上の利用者中心のため、日野中央特別支援学校などの受験対策、就労へ向けての必要最低限の学習の取り組みを試行錯誤しながらスタッフと取り組んでいきたい。
- ・保護者のニーズにあった支援を今後もできるだけ提供していきたい
- ・自立にむけて生活スキルを身に着ける支援をしていきたい。
- ・コミュニケーション能力を向上し、自分の強み弱みを理解できるようにさせたい。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・金沢文庫プレップからの利用者が多く利用期間が長く、高評価をいただけたと思う。
今後も世の中の状況を見ながら、今できる最大限の支援をしていきたいと思います。